

科目名	畜産	単位数	3単位	学科・学年	畜産総合科	2年																																											
使用教科書	畜産（実教）			副教材等																																													
学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。2年次は「養豚」について実践的に学びを深める。 (1) 家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2) 家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決すつ力を養う。 (3) 家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の復興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																																
学習評価	○ 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table><tr><td>①知識・技能</td><td colspan="5">家畜（豚）の生理・生態ついて正しく理解することはもちろん、一般飼養管理の基礎的な知識・技術を身につけている。</td></tr><tr><td>②思考・判断・表現</td><td colspan="5">畜産（養豚）に関わる諸問題に対し、課題意識をもち、その解決となる思考を育み、物事を判断する。</td></tr><tr><td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="5">畜産（養豚）に対する興味・関心と課題意識を高め、追及するとともにその知識を生かして行動ができる。</td></tr></table>  <table><tr><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr><tr><td>学習状況観察</td><td>◎</td><td>○</td><td>◎</td><td>自己評価</td></tr><tr><td>プリント教材</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>プリント</td></tr><tr><td>ノート</td><td>◎</td><td>○</td><td>○</td><td>学習ノート</td></tr><tr><td>定期考査</td><td>—</td><td>○</td><td>◎</td><td>定期テスト・鑑定競技</td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						①知識・技能	家畜（豚）の生理・生態ついて正しく理解することはもちろん、一般飼養管理の基礎的な知識・技術を身につけている。					②思考・判断・表現	畜産（養豚）に関わる諸問題に対し、課題意識をもち、その解決となる思考を育み、物事を判断する。					③主体的に学習に取り組む態度	畜産（養豚）に対する興味・関心と課題意識を高め、追及するとともにその知識を生かして行動ができる。					評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	◎	○	◎	自己評価	プリント教材	—	—	○	プリント	ノート	◎	○	○	学習ノート	定期考査	—	○	◎	定期テスト・鑑定競技
①知識・技能	家畜（豚）の生理・生態ついて正しく理解することはもちろん、一般飼養管理の基礎的な知識・技術を身につけている。																																																
②思考・判断・表現	畜産（養豚）に関わる諸問題に対し、課題意識をもち、その解決となる思考を育み、物事を判断する。																																																
③主体的に学習に取り組む態度	畜産（養豚）に対する興味・関心と課題意識を高め、追及するとともにその知識を生かして行動ができる。																																																
評価方法\観点	①	②	③																																														
学習状況観察	◎	○	◎	自己評価																																													
プリント教材	—	—	○	プリント																																													
ノート	◎	○	○	学習ノート																																													
定期考査	—	○	◎	定期テスト・鑑定競技																																													
履修上の注意	「豚」の習性や飼養管理技術を総合実習とも絡めて体験的に学習します。飼育衛生管理をはじめ飼養管理・分娩介助・哺育・去勢・出荷や豚肉のカットなどの実技も伴いますので、定期考査や各種提出物のほか、実技への率先した取り組む姿勢も評価します。																																																

学期	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動（評価方法）
1	養豚 1 ブタの特性 2 ブタの品種と選び方 3 養豚の施設・設備とその利用 4 ブタの繁殖	36	肉用家畜としての豚の特徴を学習し、肉資源として有効な動物であることを理解する。 豚の起源、品種を学習し、交雑種の利点を考える。用途別の豚舎構造を理解し適切な一般管理ができるようにする。 豚の生殖器の働きを知り、繁殖豚に見合った飼料給与方法と発情の見極めができるようにする。	豚の各部名称を覚える。 （小テスト実施） 体重測定と資料摂取量調査を毎週実施し、発育生理を実際に知る。 発情時の豚の観察（前期から後期）。自然交配・人工授精の適期についての見極め。 【 学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【自己評価】
2	5 子豚の育成 6 肉豚の肥育 7 肉豚の流通	39	適切な子豚保育技術を修得する。 飼養管理と肉質の関係を考え適切な飼養方法を知る。 豚価の変動の特徴や流通方法について学び経営診断のできる能力を養う。	雄雌の見極めと去勢を実施。哺乳期から肥育後期にかけての飼養管理を総合実習とともに実践的に学習する。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【自己評価】
3	8 ブタの病気と予防衛生 9 養豚の経営	30	法定・届出伝染病の種類や防除方法について学習する。また養豚における健康観察の要点と適切な健康管理ができる能力を養う 経営形態を学び、頭数や規模により変わってくる事を理解し、その能力を養う	防除は畜舎にて豚房や器材等の消毒方法や消毒槽などに用いる薬剤の使用方法等を実践的に学習する。 養豚を取り巻く世界情勢にも目を向け、食料の安全と流通を学ぶ。 【 学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【自己評価】
		105		